

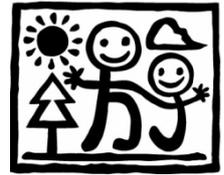
令和元年度NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 共同開催

(大東建託グループみらい基金 助成事業)

## お外で子育て推進講座 実施報告書

広めたい！そとあそびの輪

～地域みんなで公園に手づくりの遊び場をつくっちゃおう！～



共催団体 古河ころりんプレーパーク

実施日時 令和元年11月24日(日)10:00～14:00

開催場所 古河公方公園(茨城県古河市鴻巣 399-1)

### ①講座の概要

講師である廣川和紀さんに、プレーパークって何、どうして子どもに外遊びが必要なのという話をしていただいた。プレーパークが地域にも必要だという気づきをもたせることや一緒にプレーパークをつくっていききたいと思う仲間をつくるためのきっかけとなった。講演会は屋外で行なった。会場のすぐ側には、子どもが遊べるような環境を設定し、大人は話を聴きながら、子どもが嬉々として遊ぶ姿を見られるようにした。昼食後、廣川さんには、プレーパーク体験にプレーワーカーとして加わっていただいた。

### ②お外で子育てを広めるための告知の方法や参加者の構成

古河市の後援を受け、1万3千枚のチラシを古河市内の保育園・幼稚園・小学校や支援センター・公民館などに配布し、告知した。Facebook やLINE も活用し、古河市外の参加者にも開催を知らせることができた。今回は古河公方公園づくりフェスティバルも併せて開催し、古河公方公園あげての大きなイベントとなったため、たくさんの公園関係者と会議を重ね、多方面に周知することができた。古河市長、古河市議会議員などの行政関係者、公園の指定管理者、公園を管理するシルバーさん、読売新聞、古河ケーブルテレビ、乳幼児、小学生とその保護者、自治体関係者、近隣住民、他地域の冒険遊び場づくりにかかわる市民など多様な参加者(約90名)の姿が見られた。

### ③講座を終えて・・・(感想等)

たくさんの親が雨の中でも嬉々として遊ぶ子どもの姿に驚いていた。また、講師から、外で遊んでいる様子を見ながら話のできたのでよかったとのことのお言葉をいただいた。講演会のアンケートで、「また古河ころりんプレーパークに参加してみたいですか？」の設問に「はい」と回答した方は100%であった。その他、子育ては地域でしていくものなのだ、親はきちりやらず、ゆったりと構えていいのだ、という外遊びや子育てに関して、前向きな意見をたくさん聴くことができた。今回この講座に採択されたからこそ、出会えた仲間がたくさんいた。このイベントを機に、皆さんと連携をとり、仲間を更に増やしたい。



【NPO法人日本冒険遊び場づくり協会WEB】<http://bouken-asobiba.org>